

「桜峰小学校の鎌踊り伝承活動の取組」

1 学校名

鹿児島市立桜峰小学校

2 学年・人数

5・6年生（計5人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

(ア) 令和2年9月29日（火） 学習発表会前の練習 本校体育館

(イ) 令和2年10月13日（火） 学習発表会前の練習 本校体育館

(ウ) 令和2年10月27日（火） 学習発表会前の練習 本校体育館

(2) 発表の日時・場所

令和2年11月4日（土） 桜峰小学校学習発表会

9：30～9：40

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

(1) 名称

松浦鎌踊り（まつうらかまおどり）

(2) 由来

1600年（慶長5年）関ヶ原の戦いに敗れた島津氏第17代島津義弘公は、翌年郷土の士気を鼓舞するとともに、緊急の場合にはいつでも郷土を自らの力で守ることができるように、踊りの中に武芸の技を加えたとされる。また、五穀豊穰を祈願して踊られたとされている。

(3) 構成等

6人一組で踊り、左右に3尺棒の踊り手が4人、真ん中に鎌棒の踊り手が2人という組み合わせで構成されていた。現在では全員が鎌棒で、鎌踊りの歌に合わせて演舞する。令和2年度の5・6年生は男女合わせて5人だったので、担任を加えて6人とした。

5 保存会や地域との連携の具体例

毎年5月の小学校運動会においてこの「松浦鎌踊り」を伝承し披露するために、松浦集落の鎌踊り保存会の方々に学校に来ていただいて、児童への細かい指導をお願いしている。保存会の方々に鎌踊りの歌を歌っていただき、歌に合わせて練習をする。また、鎌踊りでは鉢巻きや襷掛け、腰ひもを身に付けるが、独特の結び方をするために、保存会の方々に結び方を教わっている。棒の振り方や顔の向き、掛け声まで細かく丁寧に御指導いただいている。

今年は11月の学習発表会の場において発表することとなった。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

保存会の方々が伝承している「松浦鎌踊り」の形が、大人の男性による勇ましい踊りであり、使用する鎌に似た棒なども、児童が使用するには危険が想定されるので、単に3尺棒のみの使用にとどめるとともに、踊りの内容も児童が踊りやすいように少し変更しつつ、歌に合うような工夫を行っている。また、衣装やすね当てを貸していただき、手甲を付けることで勇ましさが伝わるようになった。

7 取組の様子

その年、初めて取り組む5年生も、5・6年生での伝承が続いていることを知っており心構えができています。低学年の頃から目にしているので踊りの

覚え方は早く，6年生が個別に細かい点の修正を教えていくことでほぼ踊ることができるようになる。保存会の方々には，練習のときでも実際に鎌踊りの歌を歌ってくださる。自分たちだけの練習ではテープに録音した歌で踊るので，子どもたちも本番と同じ歌を聴いて踊れるので有難い。



【令和2年度 学習発表会より その1】



【令和2年度 学習発表会より その2】



【令和2年度 学習発表会より その3】



【 松浦鎌踊り保存会の皆さんと 】

8 参加児童生徒・保存会・教員等の感想・意見

(参加児童)

- 保護者から大きな拍手をもらって嬉しかった。
- 棒の振り方や目線など，練習で気を付けたところを頑張れた。
- ステージで踊るのは緊張したけど，踊っているときは楽しかった。
- 保存会の方々に「うまかったよ。」と言われて，とても嬉しかった。
- 運動会ではできなかったけど，学習発表会で披露できてよかった。

(教職員)

- 子どもたちが郷土の伝統文化を伝承し，地域の人たちの前で披露する活動はとても尊いと思います。地域で育つ子どもたちの心に深く残り，地域に誇りをもって育ってくれると考えます。

(保存会)

- 郷土に伝わる鎌踊りを小学生が覚えて，地域住民の前で踊ってくれることに対し，嬉しく感じています。保存会のメンバーも高齢になっているので，若い人たちが伝承を続け，未来に伝えていってくれることを願っています。